

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

長野県優良住宅

グループの名称

長野県木造協会

直近採択グループ番号

06-0389-0378

(グループ代表者)

代表者名

織井 常昭

代表者印

代表者所属先

株式会社織建

代表者所在地

長野県伊那市山寺1526-8

代表者電話番号

0265-72-4776

(グループ事務局)

事務局事業者名

ミヤモリ株式会社

事務局担当者名

柳沢 知徳

印

事務局郵便番号

385-0022

事務局所在地

長野県佐久市岩村田3113

事務局電話番号

0267-68-0001

事務局FAX

0267-68-0006

事務局担当者E-mail

yanagisawa@miyamori-g.co.jp

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		50	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	40	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	10	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		4	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	3	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		10	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	8	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	2	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
		高度省エネ型	認定低炭素住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸	
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸	
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		0	戸	
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸	
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸	
高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
	高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		1	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	1	戸		
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		15	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	12	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	3	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		2	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		5	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	4	戸			
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸			
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		0	戸			
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	0	戸			
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	0	戸			
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		0	棟			
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		0	棟				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	実行性が高い物件を優先する。当初3ヵ月は採択戸数に合わせて受付棟数を制限する。当グループで補助金利用実績のない工務店優先を1割程度設ける。未経験工務店枠は着工の早い物件を優先する。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	0	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1	戸
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	2	戸	交付申請戸数	2	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	2	戸	
優良建築物型									
採択棟数	0	棟	交付申請戸数	0	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	0	戸	
採択床面積	0	m ²	交付申請床面積	0	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	0	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長野県優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県及び長野県近隣地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 長野県木造協会	(結成年) 2015 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0389-0378	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長野県の地域温暖化対策条例の評価付けに対応し、省エネルギー性能の向上・自然エネルギーの導入を行いグループで指定する評価機関による評価を付けることとし、評価のデータを事務局へ提出する。また、評価データをグループで保存する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	木造軸組み工法に特化した建築仕様とする。	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域の景観を楽しめる窓配置により光と風を充分に取り込めるデザインを推奨し、地域の気候風土に根差した建築物となるように工夫するよう努める。	○
④①～③の背景	積雪や地震に強く、自然エネルギーを活用し省エネ設備を取り込んだ住宅を地域の特徴をふまえて検討していく。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	当グループの建築物ならば「安心」と思っていたりするような住宅を目指していく。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄	
a	①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内での話し合いの場をもうけ、寸法規格化の検討やしほりこみを行うよう努める。	○
	①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内での話し合いの場をもうけ、使用建材の統一の検討やしほりこみを行うよう努める。	○
	①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内での話し合いの場をもうけ、標準仕様の設定やしほりこみを行うよう努める。	○
	②-1 建材・資材調達共同化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 羽柄材の地域材普及に向けたグループでの共通化・共同化を積極的に取り組むよう努める。	○
	②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: 効率的な材料確保、安定的な地域材の取り入れができるよう事務局とプレカット事業者が連携していく。	○
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input type="checkbox"/> 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内にワーキンググループを設立し、合理化に向けた委員会を適宜開催し検討、報告していくよう努める。	○
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 事務局が研修会等会員に案内し情報を共有できるよう努める。	○
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 必要部位の使用部材のメーカーによる施工基準を周知する為の施工技術講習会を実施する。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 基礎の配筋検査、木造金物検査で検査項目となっている箇所について、グループへの現地写真の提出を義務化し、品質の確認をするものとする。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 燃費ナビを活用し建築物の使用エネルギーを可視化できるように取り組んでいく。	○
c	① 週休2日制の導入の取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 将来の担い手を育成するためより良い職場環境づくりを目指し、週休2日制の導入を推奨していく。	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③ 社会保険への加入	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 国の定めた適切な保険制度への加入を推奨していく。	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	<input type="checkbox"/> ない ■ ある → 内容: 現場の安全パトロールや健康診断の実施を確実にできるよう啓蒙していく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	同一地域の他グループとの連携を図り、地域型住宅グリーン化事業を推進するよう努める。		○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長野県優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県及び長野県近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長野県木造協会	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0389-0378	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄	
a	① 住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅に義務付けられた「維持保全計画」を確実に実現する為、住宅履歴の保管ができるジャパン建材「快適住実の家」の「住宅履歴の図書館」への登録を推奨、管理を行う。	○
		①-2 情報サービス機関の活用	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: ジャパン建材及びナイスのサポートセンターを活用するよう推奨していく。	○
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり維持管理をしていく。	○
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期的に定期点検を行うことができるよう、点検時期に工務店へ通知し、メンテナンスを確実にできるような体制を作る。	○
		②-2 補修の共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり維持管理をしていく。	○
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報に基づく住まいのカルテを作成し、見やすい形で保管する。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
		③-3 その他の相談会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	④ 維持管理委員会等の設置	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となり維持管理をしていく。	○	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ総会で引き継ぎ業者をすみやかに検討する。	○	
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

エ. グループの技術力の向上

【平成30年度対応方針】			◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術勉強会や研修会を定期的に開催し、未経験工務店も積極的に住宅を供給して制度を活用できるようにする。	◎
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 今後リフォームの需要増加が見込まれるので補助金等の情報を集め検討、対応できるよう努める。	○
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 技術勉強会や研修会を定期的に開催していく。	○
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 9 今年度の参加目標人数 10	○
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 1 今年度の参加目標人数 2	○
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネ技術講習会の案内を送付し、積極的に参加してもらえるよう取り組む。	◎
c	① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 工務店間の現場勉強会を開催し、情報の共有、検証を行えるよう努める。	○
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 長野県優良住宅	(地域型住宅供給対象地域) 長野県及び長野県近隣地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 長野県木造協会	(結成年) 2015年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0389-0378	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	○
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	◎
	④ 和の住まいの要素を取り入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	
カ. その他		
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄
	東日本大震災の復興に資する取組	
	平成28年熊本地震の復興に資する取組	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 長野県優良住宅	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 長野県及び長野県近隣地域
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 長野県木造協会	<small>(結成年)</small> 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0389-0378	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
外皮性能と高性能省エネ住宅機器とのバランスに配慮し、長期間省エネルギーを維持できる住宅。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。